

## 2025年3月期 ゴルフ会員権レポート

～ゴルフ場業界を取り巻く環境について～



Paralym Art 「ライオンのあくび」 ティンくん 作

## 表紙イラスト紹介

### ーライオンのあくびー (ティンくん 作)

強靱な身体、立派なたてがみを持つ百獣の王。  
「力」の象徴として認識されることが多いライオンですが、  
一転、大きく口を開いた表情に細められた目、無防備な姿に癒される作品です。

写実的な描写とイラスト的な色彩が絶妙な塩梅で融合しているティンくんさんの  
描く動物たち。

個人的にはどの作品も目元の表現がお気に入りです。

動物たちの「かわいい」がそこにぎゅっと詰まっていると思っています。

平面でありながら、生命力や息遣いを感じる絵は心惹かれるものばかりで、  
次に描かれる動物はなんなのか。

次回作が非常に気になるアーティストさんです。

(株)アパックス・インターナショナルは、  
SDGs の取り組みの一環として、パラリンアートを応援します。



Paralym Art®  
障がい者アートを応援しています

障がい者がアートで夢を叶える世界を作る

パラリンアートは

障がい者アーティストとひとつのチームになり、  
社会保障費に依存せず、民間企業・個人の継続協力で  
障がい者支援を継続できる社会貢献型事業を行います。

一般社団法人 障がい者自立推進機構  
<https://paralymart.or.jp/association/>



# ゴルフ会員権業界を取り巻く環境（2025年3月）

## ～大特集ゴルフ場フォーカス ファイブハンドレッドクラブ（500C）編～

「予約が取り難い…特に都心から近いゴルフ場が！」

ゴルフ接待が多い法人の、共通の悩みではないでしょうか？

コロナの影響から、ゴルフ接待が見直され、再度、ゴルフブームが到来しました。

結果、バブル期のように、「ゴルフ場の予約が取り難くなった」という問題が増加しています。

勿論、近隣コースの方が「時間」を有効に利用出来るのは間違いありません。車で1時間圏内のコースの方が、好まれる傾向も良く理解できます。

しかし、今回 AI ゴルフ総研（以下 AIG）は、あえて車で行く近隣コースでなく「新幹線」を利用したゴルフ場、**ファイブハンドレッドクラブ(500C)**をご紹介させていただきます。2025年度3月レポートは「**ゴルフ場フォーカス ファイブハンドレットクラブ(500C)編**」です。



- 目次**
- 【1】500C までのアクセスに関して
  - 【2】500C とはどのようなゴルフ場なのか
  - 【3】500C コースのこだわり
  - 【後記】

※ 今回の取材の完全版は後日(2025年4月上旬予定)に弊社HP上にUP致します。  
そちらもご覧頂ければ幸いです。

### 【1】500C までのアクセスに関して

500C は、東京駅から新幹線（こだま・ひかり）で約50分。最寄り駅は「三島駅」。駅から車にて約25分で到着可能です

※ 東京方面より（新幹線利用）又は新宿方面（小田急線ロマンスカーにて小田原駅乗り換え）からのアクセスも可能です。

公共交通機関の移動時間で約 80 分。「意外と近い」と思われたのではないのでしょうか。  
電車での移動であれば、車の運転も必要なく、飲酒をしても心配はありません。

最寄り駅からコース迄が車移動（クラブバス若しくはタクシー、約 13km、約 25～30 分）ですが、渋滞の心配も皆無です。中途半端な距離のある都心のゴルフ場よりも、寧ろ移動時間が少なくて済むかもしれません。※コースと駅前をクラブバス（ハイエース、9 名乗り）2 台が運航しています。

ターミナル駅である三島駅前にはホテルも多く、前泊されてプレーを楽しまれる方も少なくありません。車を利用しない事で、時間が確実に読め、スケジュールを管理出来る点が、500C の強みの一つです。

※ お車を利用された場合、東京駅から約 120km、約 2 時間。横浜近隣にお住まいの場合、所要時間は 1 時間弱です。

また三島駅前に多くの飲食店も点在しております。万が一電車で乗り遅れても、飲食店に困ることも少ないので、その点でも接待に便利な場所と云えるでしょう。

## 【2】500C とはどのようなゴルフ場なのか

500C は、東急(株)が母体のゴルフ場です。

ご存じの方も少なくないと思いますが、500C は東急グループコースの中でも「ナンバーズコース」（その他 300C、東急 700C）、と呼ばれ、選ばれた方のみ入会出来る、非常に格式の高いゴルフ場です。

ナンバーズコースのクラブハウスエントランスには、下記の標柱が掲げられています。

### 「有朋自遠方来不亦楽乎」

遠方より友人が来てくれるのは嬉しいものだ。

### 「不許冠職入山門」

身分や地位、職業を意識してここに入ってはならない。

500C の会員権種別は「個人」名義の正会員のみとなります。個人名義でも、メンバーの約 80% が大手上場法人にお勤めになられている、又は OB の方で構成されています。業種に関しても、特定業種の方が多いという事はなく、多岐にわたる業種の方々が入会されています。

### ～他のナンバーズコースとの違い～

ナンバーズコースは 3 つ存在します。300C、500C、そして東急 700C です。

最もわかりやすい違いは「名義」です。東急 700C のみ「法人」名義ゴルフ場（入会可能な法人は、上場法人クラス）で、その他の 300C、500C は「個人」名義のゴルフ場です。

皆様が知りたいのは各ゴルフ場の明確なコンセプト（各コースの違い）なのではないでしょうか。「凄いゴルフ場だ！」というぼんやりとしたイメージしかないのが、東急のナンバーズコースのミステリアス、且つ皆が惹かれる部分でしょう。

明確な違いがあるのが、東急 700C です。「法人」名義のみのゴルフ場なので、300C、500C より更に**法人接待**のニーズを満たすことが出来るようコース及びクラブハウスが設計されています。

ではともに「個人」名義である 300C と 500C の違いは何でしょうか。

300C は、ナンバーズコースの中でも、最初にできたゴルフ場で、皆様ご存じの通り、東急グループの五島昇元会長が手掛けたゴルフ場です。よって、選ばれた方のみが入会出来る、**最高級志向**をコンセプトとしています。

対し 500C は、仲の良いお仲間をお誘いするための別荘感を強く意識し、**プライベート感**をコンセプトとしています。

クラブハウスは、木造建築の造りになっており、あえて「静岡県の別荘地に、仲の良いご友人をお誘いした」雰囲気醸し出し、非常に和やかな空気が漂うゴルフ場です。

まさに、東急のナンバーズコースは、それぞれのコンセプトが明確で、ニーズにより使い分けが出来るように区分けされているのです。

### 【3】 500C コースのこだわり

接待コースの側面もあるということは、簡単なゴルフ場なのか？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、500C は、所謂「接待コース」ではなく、静岡ならではの地形を生かしたアップダウン、ドッグレック、そして木々のハザード等が、各ホールに散りばめられており、何度来場されても、楽しめるようなコースレイアウトとなっています。

また近年人気の高まっている「**カート乗り入れ**」も開始（別途料金）されています。

上記に、**スループレー**もプラスすれば、大幅にプレー時間も短縮され、且つプレー後にゆっくりとお食事を召し上がって頂く事で、特別な接待を演出出来る事でしょう。

では、コースの詳細、こだわりに関して 500C の青木総支配人と、コースを管理している、グリーンキーパーの前田さんにお話を伺いました。



**青木総支配人**  
**座右の銘: 迅速果断**



**グリーンキーパー 前田さん**  
**座右の銘: 臥薪嘗胆<sup>がしんしょうたん</sup>**

Q) 500C でチャレンジして欲しいのは何番ホールですか？

難易度で言うと8番ホールです。ミドルホールですが約430Yと距離は決して短くありません。またティーショットは谷越えて、ドキドキ感を楽しんで頂けると幸いです(笑)。

Q) 500C のコースに関して、見てほしい、感じて欲しい部分はどこでしょうか？

500C は富士山麓に位置することから、他のナンバーズコースと比較して、適度なアップダウンがあります。またドッグレッグホールも適度に配置され、ゴルフ好きのゴルファーの心を弾みます。ゴルフが好きな方には是非とも感じて頂きたいところです。

そしてプレーヤーの期待を裏切らないよう、年間を通しコースクオリティを維持しています。

バンカーのエッジラインの明確さ、そして砂の厚さにもこだわっています。近年は寒暖差も激しくメンテナンスが大変ですが、どのシーズンに来場されてもご満足頂けるようフェアウェイ、グリーン共に徹底したコンディションをキープ出来るよう調整しているので、是非、何度もご来場いただき、ご体感頂ければ幸いです。

Q) グリーンのスピードに関して教えてください。

グリーンは、プレーヤーが最も重要視される場所です。500Cのグリーンスピードは平均10ftです。夏場は夏枯れの影響またトップシーズンに向けて8~9ftで対応し、トップシーズンから冬場にかけては11ftを目安に調整します。

グリーンの質も500Cの魅力の一つです。速いグリーンを好まれる方もいらっしゃいますが、プレーの楽しさも感じて頂きたいので、あまり数値上のスピードは追及していません。

Q) 近年、夏の異常な暑さから、冬のプレーを好まれる方も少なくありません。

グリーンの凍結にはどのような対策を行っていらっしゃいますか？

冬場はグリーンが凍らないように（霜よけ対策として）、送風機にて対策をしております。

ゴルフ場で、プレーヤーが最も長く過ごすのが、コースです。東急Gのトップグレードであるナンバーズコースの名に恥じないクオリティを、年間を通して維持できるよう他のナンバーズコースのキーパー達とも情報を共有しながら、コース管理に努めています。

Q) レディースティに関して、何か意識されている点がありますか？

近年の女性ゴルファーの増加もあり、500Cも女性向けにコース改修を行っています。特に顕著なのは、レディースティです。以前は、レディースティでも、もっと距離がありました。しかし、あえてレディースティを前方に位置することで、どの年代、どのレベルの女性ゴルファーにも楽しんで頂けるコースになるようにしております。

実際のレギュラーティとレディースティの距離を比較すると、下記となります。

**<ヤード比較 A グリーン>**

	距離	差	1Hあたり差
レギュラーティ	6,351Y	-	-
レディースティ	4,916Y	1,435	約80Y

来場されるゴルファーの期待を裏切らないよう、また天候や近年の温暖化を理由にせず、常に自責の意識でコース管理を行っている500C。そして、常に多面的な視点（接待での利用、プライベートでの利用、そして女性プレイヤーの増加）を意識し、コースを客観的に観て、管理している姿に500Cの更なる深化を期待せずにはられません。

### ～尾崎's eye～

AIG 女性スタッフ、尾崎から見たゴルフ場の印象をお届けします。

今回、プレーさせて頂き、他のゴルフ場と比較しても、顕著にレギュラーティと、レディースティとの差が感じられるゴルフ場でした。

男性と比較して、女性は第1打（ウッド系、特にドライバー）の飛距離の差が明らかです。ですが、レディースティが無理のない位置に配置されている、特にミドルコースでのティの差がはっきりしているので、とてもプレーしやすく、スコアもまとまりやすいという印象でした。どのレベルの方でも楽しめるコースレイアウトだと思います。

### ～柳's eye～

弊社のゴルフ大好き役員、柳から見たゴルフ場の印象です。

500C のコースは、適度な変化、そして適度なアップダウンがあり、また、左右に曲がるドッグレッグホールが、程よくちりばめられています。そこに富士山麓と駿河湾からの風が影響し、攻略が一筋縄ではいかないホールがそろっているゴルフ場だという印象です。OUT コースは、セカンド地点から、打ち下ろしが多く、広めで、グリーン面が見えるショットになるのでプレーしやすく、IN コースは、ミドルホールの距離が長めで、砲台グリーンが多く、打ち上げを計算してクラブチョイスを行わないと、パーが狙い難いコースが多かったです。

接待コースの色合いが強いのか？という最初の先入観がありましたが、プレー後は、単なる接待コースでなく、ゴルフ好きの方が、好んで何度もプレーしたくなるようなコースレイアウトだなと、最初の印象が180度変わりました。

## 【4】後書

### 「有朋自遠方来不亦樂乎」「不許冠職入山門」

前述の通り、東急のナンバーズコースのエントランスに、必ず設置されている言葉です。

「有朋自遠方来不亦樂乎」は、皆様ご存じの通り「論語」の一節です。

「不許冠職入山門」は、「不許葷酒入山門」（禅寺の山門の脇の戒壇石に刻まれる言葉）を模した言葉と云われています。

東急の創業者である五島慶太氏は、「菜根譚」を愛読していたということは有名ですが、息子の五島昇氏がゴルフ場に記したのは「論語」の言葉でした。

昇氏は何故論語の言葉を選ばれたのか…。そこで五島昇氏の経歴を紐解いてみました。

五島昇氏は、友好的に他社との関係性を築かれ、今日の東急グループの礎を構築された方です。



当時、多摩田園都市の開発には民間鉄道事業の規模を超えたプロジェクトを推進されました。また、計画面積 500 万坪という国家事業規模の都市開発も、昇氏が率先して**地主と対話**し区画整理を進めていらっしゃいました。

論語には、**人との調和や協調の大切さ**を説くものが少なくありません。事業では、関係者との協調を大切にされていた昇氏、そんな昇氏がスポーツ（野球、ゴルフに熱中）でも「和」を大切にされていたのではないかと推察するのは困難ではありません。

### ～「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」～ 論語 孔子

～徳の高い人は、和して同ぜず。つまり、他の人たちと協調（協力）はするけれど、だからといってむやみと同調（雷同）するわけではない。それに対して、徳の低い人は、同じて和せず。つまり、他の人たちに同調はするけれど、協調はしない～

世の中には、様々な個性を持った人々がいます。一人一人が個性を發揮しながら、お互いに尊重し合い、一つの集団として、ハーモニーが保たれている。そうしたコミュニティが、人間社会の理想的なあり方でしょう。

まさに東急のナンバーズコースの在り方も、これを表そうとしているのではないのでしょうか。

論語は、古代中国の大古典「四書・五経」のひとつ。孔子とその弟子たちの言行を集録したものです。人間として守るべきまた行うべき、当り前のことが簡潔な言葉で記されています。

東急のナンバーズコースには、この**当り前を徹底しよう**という意識が強く根付いています。

メンバーシップゴルフ場の「当り前」とはどのような事でしょうか。

ハード面では、徹底したコースメンテナンス。ソフト面ではメンバー優先サービス、メンバーがお連れした大事なお客様のおもてなし。

まさにメンバーシップゴルフ場であれば、出来て当然の事でしょう。

しかし、この当然の事が徹底されていないゴルフ場も存在することも明白です。

500C を含めた東急のナンバーズコースはこの**当り前**を徹底的に貫いている。それが、他のコースとの**圧倒的な「差別化」**を生んでいる。それを強く強く感じた取材でした。

「**小事が大事を生む**」。まさにこの言葉を具現化したゴルフ場の一つが、500C です。

(AI ゴルフ総研 五十嵐)